

地域連携推進会議

令和 7 年 6 月 14 日
共同生活援助 喜和璃

○日時

令和7年6月14日（土）

○場所

共同生活援助事業所 喜和璃

○参加者

- ・地域連携推進員：A様（旦那様、奥様）※地域の関係者
- ・相談支援専門員：B様※福祉に知見がある人
- ・市の職員：C様※施設等の所在地の市町村担当者等
- ・利用者の家族：D様※欠席されました。
- ・利用者代表：E様※利用者様代表
- ・グループホーム管理者：木村事業総括、田場小

○議題内容

- ・施設見学（10分）
- ・喜和璃の事業内容の説明（15分）担当：木村事業総括
- ・各自、自己紹介（15分）
- ・トークセッション（60分）

1. 地域連携推進会議の目的について

地域連携推進会議は、施設と地域の連携や利用者と地域の関係づくりを目的に始まりました。ぜひ、みなさんの日ごろの思いやご意見を自由に発言していただき、短い時間ですが、有意義なものにしたいと思っています。いくつか注意点をお話させていただきます。

会議内で知り得た情報の秘密保持について、本日の会議で知った個人情報等については、外部に漏らすことがないようにご配慮ください。(参加承諾書にて、同意をえています。)

会議の議事録の扱いについては、会議終了後に議事録を作成し、公表することが義務付けられているため、当事業所の自社ホームページで公表を致します。

2.自己紹介

・地域住民代表者：A様

縁あって、魚屋町に住んでいて、サラリーマンを定年して、今は後期高齢者になりました。生まれ育った場所であり、町内では、町内会の役員をしています。町内会の役員（会計、副会長、会長）はほぼ経験しています。自分らの親世代の方が皆いなくなると、町が無人になってしまう恐れがある。城下町は一年を通して、毎月イベントが多くあり、その月々によって、犬山祭り、どんど焼き、お祭りの太鼓、決算総会、秋葉さんの夏祭り、流しそうめん、花火、アンドンを灯す、敬老会、新年会、からくり、そうだがや、冬まつり、等のイベントが活発であるとのこと。

前務めていた会社のO B会の役員も務めており、400人規模の総員数の会長もなさっています。他にも、名古屋の保育園の修繕事業の評議員や犬山市の明るい選挙推進委員で選挙の開票の立会人や、選挙の出前講座を行っています。

・知見を有する者：B様

相談支援事業所で相談支援員をしています。本日は地域連携推進会議をすることで、障がいを持っている方と地域の方々との繋がりがうまく作れれば良いと思います。

行政関係者：C様

犬山市の障がい者支援課の担当の者で、地域連携推進会議を行うことで、グループホームがどのような施設なのかを地域の方々に認知してもらうことで、閉鎖的な環境にならないようにし、風通しが良い環境に繋がっていけばよいと思います。

ご家族様：D様

※ご都合により、ご欠席。 後日、本会議の内容を伝え、施設見学を行う。

利用者様：E様

グループホームに入所している、Eです。今、求職活動を頑張っています。

事業所職員：管理者 F サビ管 G

2. 法人・事業所紹介

※パンフレットに沿って説明。



特定非営利活動法人(NPO法人) ぽんぽこネットワーク

事業所内紹介

☆障がい者総合支援法に基づく障害福祉サービス
家庭的な雰囲気の中で、ひとりひとり伸び伸び過ごし、安心・安全な住環境で日常生活に必要な力を身につけます。

特定非営利活動法人 ぽんぽこネットワークとは…

障がいに係わるあらゆる問題を共有し、解決へ導くお手伝いをします。
○障がい者総合支援法に基づく事業の実施
○児童福祉法に基づく事業の実施
○いつでもだれでも気軽に支え合えるネットワークの構築

共同生活援助事業 喜和璃とは…



デイリープログラム（平日）※休日は、相談して決めます。

16:00	16:30	17:00	19:00	22:00	6:30	9:00
帰宅	休憩準備	入浴	準備夕食	余暇	就寝	起床 朝食 出勤



作業内容・余暇活動

◎生活

喜和璃に到着後、明日の準備やその日のスケジュールの確認をします。リビングで仲間と過ごしたり、居室でまったり自分の時間を過ごす自由時間、自宅にいるような気持ちでリラックスした生活を送ります。洗濯や掃除などの衣食住に関わる生活力を自分の力で行う事で、生活スキルの維持と向上を目指します。

◎入浴

必要に応じ、洗体・洗髪のお手伝いを行っています。看護師による、健康チェックを行い、清潔の保持や身体に異常がないかの確認もします。広い浴室で一日の疲れをゆったり流しています。

◎食事

バリエーション豊富で栄養満点、愛情たっぷりの喜和璃ごはん！健康にも気を

つけながら、リクエストにも答え、よく噛んで食べるごはんを習慣化し、片付けまで自分で行います。お楽しみ会で鉄板パーティも行っています。

◎居室

冷暖房、TV、ベッド、を完備し快適に過ごせます。自分たちの好きな物を

飾ったり置いたりして、安心して過ごせるように配慮しています。

◎余暇

城下町へ散策に出掛けたり、施設外へ出かけたりする事も行っています。

日常生活で必要なものを買い出かけたり、散歩へ行って、身体を動かすこと

で、健康促進・維持を狙っています。

◎異年齢交流

入所されている方と、短期入所を利用される方と一つ座卓の下で生活すること

で、お互いが協力し合うことで新しい繋がりをつくり、楽しい時間を過ごします。



喜和璃は犬山城下町の中になります。現在、障がい区分、1~5の方が利用しています。

入浴に関しては、自分で身体を洗えない、洗髪も出来ない人には、その方々に合わせた、入浴介助をし、入浴後にも、看護師による指示の元、必要なケアを行い、その人に合わせた対応を行っています。食事に関しては、栄養満点で、季節に合わせた食事のメニューを提供しており、バラエティー豊かな内容を考案し、日々世話人さんが、愛情たっぷりの料理を作っています。余暇としては、天気が良い時には、城下町へ散歩出かけたり、夜な夜な出歩いて市内のパトロールをしたり、買い物実習に出かけたり、自分たちでお弁当を作ってピクニックに出かけています。これは、健康維持にもつながる事であり、利用者の方々への健康管理には注意をしております。先ほど述べたように、外部に出る活動を企画もしますが、大事な事は、自分たちで出来る生活動作能力の維持です。生活する上で必要な力というのは、衣・食・住に関わるすべての事です。障がいを持っている方は、健常の方とは違い、独りで、できることが限られてしまいますが、決してできないわけではないと思います。どうしたら自分でできる様になるのか、それは毎日繰り返す日々の中で、様々な経験をさせ、独りで出来なくても、仲間と助け合えばできることもあるので、出来る人ができない人を助け合う事で生活が成り立つていけばよいのではないか。と考えています。福祉というのは、助け合いの精神が根本にあると私たちは信じているので、その助け合いの精神がこの GH や地域、はたまた社会にまでつながっていけば、互いに住みやすい住環境に繋がっていくのではないでしようか？

喜和璃は利用者にとって、第二の家という事を念頭に置き、集団生活の中で互いの関係性を

築きながら、楽しく、安心・安全に暮らす事で、地域との繋がりを深めていきたいと思います。

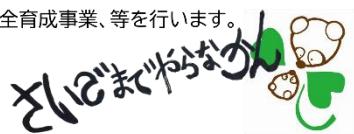
・ぽんぽこネットワークの理念

※※パンフレットに沿って説明。



活動理念

障害児者に係わるあらゆる課題をネットワークを構築することにより改善、解決を図り、地域活動の向上と福祉の増進に寄与する事を目的に、保健・医療・福祉の増進を図り、地域に根付いたまちづくりをめざし、障害者支援に関する地域ネットワーク事業、障害者に関する交流推進事業、就労支援事業、スポーツによる健全育成事業、等を行います。



活動実績

H15.12 ぽんぽこストアの設立
H16.12 いぬ市街地お祭りにおいて、「ぽんぽこ市」開催
H17.4 いぬ祭において、魚屋町の協力によって、「現鹿山(ひさやま)」参加
H17.5.2 法人登録(特定非営利活動法人ぽんぽこネットワーク)
H17.10 大塚北小学校にて秋実祭活動開始
H19.2 NHKハートをつなごうに出演
H19.10 地域活動組織(個別会議)かやく開設
H23.7 いぬの会議室、寺ヶ澤開設(ぽんぽこクラブ)
H23.10 さらさら書道教室開設(ぽんぽこクラブ)
H23.12 未来社会準備会場設営 実施
H24.2 未来社会準備会場設営 実施
H24.4 おおの会議室(相談支援事業)
スマイルアートリーフ開設(就労靴瓶支援B型)
ハッピーバジン開設(就労靴瓶等デイサービス)
H25.4 ハッピーブルース開設(日中一時支援)
H25.5 フラミーダイズ児童保育設立
H27.4 大塚開設(保育所等訪問支援)
H27.7 ぽんぽこ扶養ヘルプ開設(就労靴瓶等デイサービス)
H28.3 ブリーフマスター開設(就労靴瓶等デイサービス)
H28.7 養育構築設立(就労靴瓶・知能人所)
H29.4 ぽんぽこ児童支援センター喜福開設(児童発達支援)
R2.5 児童発達支援センター喜福開設
(児童発達支援、就労靴瓶等デイサービス、保育所等訪問支援、相談支援)
R3.5 喜福夢建設(生活支援)
R3.12 喜福夢建設(生活支援)
R7.6 喜福夢 (ハリーモリカーラーから名称変更・修繕)

法人名 特定非営利活動法人

ぽんぽこネットワーク

設立 平成17年5月24日

所在地 〒484-0081

愛知県犬山市前原西四丁目20番地

電話番号 0568-65-1231

FAX 0568-48-2618

問合せメール poninfo@kiwari.jp

ホームページアドレス <http://www.ponpokonetwor.or.jp>

☆事業内容(障害福祉サービス)

- ・児童発達支援センター 喜福夢(きりむ)
- ・放課後等デイサービス 喜福夢(きるむ)
- ・放課後等デイサービス ハッジ/パッジ
- ・保育所等訪問支援事業 大樹(たいじゅ)
- ・特定指定障がい児者相談支援 伽耶(がや)
- ・生活介護事業所 喜福夢(きらむ)
- ・共同生活援助 / 短期入所

喜和瑞(きわり)

・施設入浴サービス ぽんぽこの湯



3. 利用者と地域の関りについて

サビ管 G

地域連携を考える上で必要なのは、相互の理解が重要であると思います。投薬をしている方も生活されており、中にはてんかん発作を持つ方もいらっしゃるので、てんかん発作等が出た場合には、救急車を呼ばないといけなくなることもある場合があります。救急車を呼ぶことになった場合には、夜間従事者が引率することになり、その場合、緊急対応として他の職員を応援要請するのだが到着までの間は、動けないこともある。命にかかることがあるので、迅速に対応することが求められることを説明し、その場合には、地域で助け合っていけるとありがたい。

管理者 F

ハローワークなどに行って、企業連携を目的に懇談する中で、企業の方々から踏み出せない理由は、その子のために、一人従業員がつかないといけない。責任が取れないという現実がある事を指摘された。国からも雇用率をあげるようにと言われているが、雇用をする側に必要な対策も作ってあげることが必要と考える。地域の方々へのイベントに誘われることもあるのだが、やはり責任の問題になることも懸念点の一つである。まずは、地域の人と関わる機会を作っていく事で、利用者と地域の関わりを深くしていかなければと思う。

4. 施設見学



- ・防災設備を見ていただき、説明をする。
- ・利用者の方の同意を得て、居室内の見学。備品の確認、趣味の話。
- ・共同スペースの備品、備蓄品の説明。

6.ご要望・ご感想

- ・地域住民代表者：A様奥様より

幼稚園で仕事をしていた経験から、幼児の生活を見ていると、皆でフォローをしていく。ある程度、環境を作つていけば、自分たちで動いて行ける。地域の方々との付き合い方として、言わせてもらうならば、最初にどんな特性があるのか、言ってほしい。利用されている方の決まったこと、やれること、やれない事等の特性を教えてほしい。

- ・知見を有する者：B様

こういった会議をすることで、地域の方々の顔を見合せながら話をする場はとてもいいですね。また、定期的にこのような会を開催して、繋がりができていくことを望んでいます。

- ・行政関係者：C様

閉鎖的な環境になりやすいことが多いですが、ぽんぽこさんは、オープンにやっている印象を受けました。定期的に開催されることで、透明性のある事業所運営に繋がり、利用されている方の安全安心に留意されつつ、地域の方々とのつながりを深めていくことを望んでいます。

利用者様：E様

また、お願いします。挨拶頑張ります。